

かつらぎ町



あじさい



きんもくせい

HPアドレス <http://www.town.katsuragi.wakayama.jp/>

町名の由来

かつらぎ町は、1953（昭和28）年の町村合併促進法の施行に伴い、当時の妙寺町、大谷村、笠田町、四郷村、見好村、天野村の6カ町村の間で合併のための協議が進められました。最終的には、1958年7月の合併によりかつらぎ町が誕生しました。町名は、和泉葛城山系の山麓に位置する場所にあることから、ひらがなで「かつらぎ町」と名づけられました。

また、平成17年10月に、かつらぎ町・花園村が合併し、新「かつらぎ町」が発足しました。

町章の由来

かつらぎ町のひらがなの「か」を図案化したもので、全体を平和と発展の精神にみため、円形は友情と団結、左右の翼状は永遠の発展と限りなき飛躍を象徴しています。

町の紹介

かつらぎ町は、和泉山麓・高野山麓の美しい自然に育まれたまちで、多くの社寺・史跡・名所などを有し文化財の宝庫といわれています。

特に「紀伊山地の霊場と参詣道」で世界遺産に登録されている丹生都比売神社・高野山町石道などの文化遺産、花園守口ふるさと村や花園グリーンパークなどの有田川流域にみられる自然滞在・体験型の観光施設、紀ノ川流域の万葉集に詠われた名所「妹山・背山」を中心とした景勝地、日本一の生産量を誇る四郷の串柿、四季折々で艶やかに色づく果樹などの豊富なフルーツが味わえる観光農園などがあります。



丹生都比売神社

くどやま 九度山町



ほたん



柿

HPアドレス <http://www.town.kudoyama.wakayama.jp/>

町名の由来

諸説ありますが、その一つに弘法大師が槇尾山の弁財天を信仰され、高野山をお開きになってからも月に九度ずつ槇尾山（遍照寺）へ参詣されたため、九度山の名が出たという説があります。

町章の由来

九と山の文字を図案化したもので、円形は円満と平和、山形は進歩と発展を表し、この二つの組み合わせが一致協同を意味しています。

町の紹介

九度山町は、緑豊かな自然と国宝や国指定重要文化財など数多くの歴史的文化遺産に恵まれています。特に慈尊院と丹生官省符神社、そこから続く町石道は、2004（平成16）年7月7日『紀伊山地の霊場と参詣道』として世界遺産にも登録され、多くの観光客が訪れています。また、戦国の智将、真田昌幸・幸村父子の隠棲の地としても有名で、5月4日・5日には真田まつりが催されます。

特産物として、日本一のおいしさを誇る『富有柿』があります。11月には大収穫祭も行われ、大勢の人で賑わいます。これからも、自然と歴史を大切に、文化と豊かな心の町として発展します。



慈尊院・多宝塔